

島嶼産業研究会

会報

第8号 2018年10月12日(金)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

今年は大規模台風が複数、日本列島を襲いました。北から南まで広い範囲で、相当な被害が出ましたが、皆様は、お変わりありませんでしょうか。

さて、10月から12月にかけて、フィールドワーク、研究会(2件)を予定しております。ご参加のほど、お待ち申し上げます。

島嶼産業研究会 事務局

1. フィールドワーク(鹿児島県十島村)

2018年10月19日から24日にかけて、鹿児島県十島村の宝島と小宝島を訪れ、離島における漁業の実態について学びます。現在、5名が参加の予定です。日程等は下記の通りです。参加希望者はお知らせください。

10月19日(金) 23時00分: 鹿児島港出発

10月20日(土) 11時30分: 宝島着、宿: 浜坂荘(7,500円)

10月21日(日) 宝島、宿: 浜坂荘

10月22日(月) 宝島から小宝島へ、宿: ゆどまり荘(7,000円)

10月23日(火) 小宝島、宿: ゆどまり荘

10月24日(水) 05時50分: 小宝島発、18時20分: 鹿児島港着

2. 第7回・勉強会

日時: 2018年11月10日

場所: 東洋大学白山キャンパス

時間: 調整中

基調講演:「小さな離島の産業史と現在」

乾政秀(水土舎)

島に人が住むようになった契機は、開墾、資源(水産や鉱物)、海運、迫害など様々であったが、島

で生きていくためには食料と水が不可欠であり、多少のお金も必要であった。しかし 1960 年代に入って貨幣経済化が進むと自給生活からの脱皮が迫られるようになり、収入が得られる産業の存在が不可欠になった。産業が成り立たない島は人口の減少が急速に進み、無人島化していった。演者は 7 年間にわたって全国の有人離島の調査をしているが、この間に無人島化した島は 9 島、人口が 5 人以下になった島も 9 島に及ぶ。

小さな島（100 ㎥未満の島）はどのような産業に依存してきたのかを振り返るとともに、近年の社会の変化によって産業構造が変わる中、島はどのような状況に置かれているかを総括する。また経済のサービス化の進展を島の活性化につなげる方策を展望する。

個別報告 1：エネルギー自給実現にむかう地域事例から検討する～離島地域におけるエネルギートランジションのあり方

松村悠子（大阪大学）

本研究は、コミュニティ主体のエネルギー転換にかんする地域受容と離島振興政策におけるエネルギー問題の解決アプローチの再考という二つの研究視座に着眼している。

本研究では、筆者が 2011 年から調査を行ってきた離島地域におけるエネルギートランジションに関連するプロジェクトや世界各地での質問用紙・現地調査結果の分析をもとに、エネルギー自給と地域の地域力の向上の側面から島嶼地域の今後のエネルギートランジションの課題と展望を論じてゆく。

個別報告 2：国が島へ力を貸し手を差し伸べるとき、島に対する愛はあるのか？～有人国境離島支援プロジェクト「国境へ行こう」に関わって思うこと」

永本浩司（宿のミカタプロジェクト）

- ・ 宿泊施設の支援の専門家として参加した有人国境離島支援プロジェクトの実体
- ・ 中央省庁の愚行、専門性をなくした中央官僚がやったこと。
- ・ 「6 次産業化」「島に産業を」などを謳い文句に島を食い散らす業者たち。
- ・ 官民一体など絵空事、行政と民間の島の意識の違いは天と地ほどの格差
- ・ 島は首長次第、その良し悪しを見分けるコツ！
- ・ 質疑応答、今後、どうあるべきなのか！皆さんにご意見を伺いたいと思います。

個別報告 3：「伝統的製塩事業による地域おこしの現段階～フィジー共和国ロマワイ村を事例に」

鳥居享司、西村知、Apimeleki Cokanasiga（鹿児島大学）

ロマワイ村では、伝統的に製塩事業が行われており、つくられた塩は自家消費のみならず、冠婚葬祭時の贈り物として利用されてきた。その後の生活様式の変化によって、製塩文化は消滅寸前となった。2000 年代に入り、NGO のかわりによって製塩事業が再興されるとともに、観光市場との接合により「製塩事業による地域おこし」が行われている。その現段階（取り組みの効果と課題）について紹介する。

2. 第8回・勉強会

日時：2018年12月8日

場所：鹿児島大学郡元キャンパス

時間：調整中

「宇検村の100年史」：皆村武一（鹿児島大学名誉教授）

宇検村（鹿児島県奄美大島）の歴史を編纂されておられる皆村様より、宇検村の歴史について紹介いただきます。詳細は追ってご連絡いたします。

※詳細は適宜、ホームページに掲載する予定です（<https://international-islands.jimdo.com/>）